



TCA

— NEWS —

創刊号

発行

富山市民国際交流協会
広報委員会

〒930 富山市丸の内1丁目4番50号

富山市国際交流センター(市図書館1階)内

TEL (0764) 42-1109 FAX (0764) 42-3807

発行責任者 広報委員会委員長 岡田昌代

平成5年度 富山市民国際交流協会総会



市民ボランティアによる

5年度 富山市民国際交流協会総会開催

市民が支える国際交流

富山市民国際交流協会

会長 久保田照雄

本日は富山市民国際交流協会の平成5年度総会を開催いたしましたところ、会員の皆様方にはご多忙中にもかかわらず、ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

さて、国際化のキーワードはこれまで「親善と交流」であり、協会も諸外国の人々との友好親善を基調とした交流を推進していくものでありますが、今日、地域の国際化とともに、市民が外国人と共に生きることを考えさせられたり、また一人一人の市民が国際協力や貢献を考える時代となっております。

国際化は21世紀に向けて地域社会が積極的に対応していくべき課題でもあり、協会は地域社会のこれら国際化の課題に、自ら応えることのできる組織として市民から大いに期待されているのです。

現在、すでに協会会員数も350名を越え、協会の事業推進の中心組織として5つの専門委員会も

設置され、すでに活動を開始された委員会もありますが、協会の活動は、皆様一人ひとりの活動によって支えられております。

市民ボランティアによる国際交流への取組みは富山県内でも初めてのことであり、経験も浅く活動も始まったばかりであります、協会に集まった皆様方はどなたも国際交流活動をすすんで行おうとされる方々ばかりであり、会員皆様の創意と工夫で事業が成功するものと確信しております。

協会としましても、市内の様々な国際交流団体や機関、企業さらに行政等と連携して、富山市の国際化の課題に取組み、富山市民に信頼され、また国際交流活動のネットワークの中心的機関として定着させていきたいと考えております。

(平成5年5月13日、総会(C I C 5階)での挨拶要項です)

富山市民国際交流協会の設立総会は、平成5年1月13日富山市民プラザで開催されました。



地域国際化の中心的組織を期待

富山市長 正橋 正一

今日、国際化という言葉が聞かれない日はありませんが、私は、国際化とは、情報化の進展や交通網などの発達に伴い、2つの意味で距離が短縮されたことではないかと考えます。

まず1つは、文字どおり、国と国、都市と都市とが短時間で往来が可能になったことであります。2つ目は、人と人との距離が小さくなったこと、すなわち、様々な交流を通じて、相互理解が深まってきたことであります。

今や、市民の一人ひとりが国際交流の担い手として、直接、世界各国の人々と交流する時代が到来したといえるのではないかと思います。

富山市内におきましても、現在、約2千人近くの外国人の方々が、生活されていらっしゃいますが、市民の皆さんとの交流の機会も益々増え、外国や外国の文化がとても身近に感じられるようになってきております。

さらに、富山空港とソウルとの間に定期便が就

航し、人、物、文化の交流が盛んになるものと期待しているところであります。

富山市民国際交流協会におかれましては、今年1月に設置されて以来、市民の皆さんと諸外国の方々との友好親善を通じて、教育、文化、スポーツ、産業、経済等の広範な分野で国際交流を推進されているところであります。

また、本市では、今年1月には富山市国際交流センターをオープンいたしましたところでありますが、市民の皆さんが気軽に訪れて、姉妹友好都市や外国の情報を収集し、外国の人々と交流できる場として、これからも十分ご活用いただければ幸いに存じます。

終わりに、富山市民国際交流協会が、今後とも地域の国際化の中心的な組織として、市民の皆さんから末長く親しまれ、限りなく発展していけますことを心から期待いたします。

(富山市民国際交流協会総会における市長祝辞から要旨抜粋)

市民と行政が一体となった国際交流を

富山市議会議員 五十嵐 俊行



ご承知のとおり、今や、世界の中で重要な位置を占めるようになったわが国にとって、欧米先進国との交流はもとよりアジア諸国との友好交流や、発展途上国への理解を深め、積極的に国際交流活動を発展していくことが強く求められております。

しかしながら、近年の急速な国際化の進展は、国あるいは都市間の交流活動はもちろんではありませんが、今や、市民一人ひとりが直接触れ合い友情を育んでいく市民レベルの交流が最も大切なものとなってきております。

このような中で、今年一月には、市民を中心とした各界各層からなる当国際交流協会が設立され、

現在、市民、法人を合わせた会員数も350名を越え、また、五つの専門部会を設置されるなど組織基盤が一段と強化されてきていることは、ひとえに久保田会長さんをはじめ会員の皆様方の並々ならぬご協力の賜ものと、深く感謝申し上げる次第であります。

どうか皆様には、今後とも行政とともに手を携えて、広く市民の皆様方の協力のもとに市民主体の国際交流活動を展開され、富山市の国際交流の進展に一層のご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

(富山市民国際交流協会総会における議長祝辞から要旨抜粋)

総会記念講演 “Reflections on a new life”

～素晴らしい自然・素晴らしい人々～

Charlotte Donaldson

Ms. Charlotte

(富山YMCA専任講師)

私が大学で日本の美術と建築を学んだことは、私を富山へ来させた理由の一つと言えますが、遠くに住むことをいつも夢見ていた私の性格が一番大きな原動力だったと思います。富山へ来て5年経ちますが、富山は広々としており、カナダのような広大な国からやってきた者にとって住みやすく、大都市で失われている伝統的な建築物も楽しめます。また、自然環境に恵まれ、交通の便もよく、教育設備や県立近代美術館を始めとした文化施設の充実に見られるように、人々の教育的文化的ニーズに応えるべく魅力を備えています。また、富山の人々は暖かく、親切で礼儀正しく個性も豊かで、富山の財産は人々であると思います。これらの素晴らしい面が5年も富山に住み着いている理由だと思います。



しかし、もちろん逆の面もあります。例えば天候、恐ろしいスピードをだし忍耐のないドライバー、同乗している子供がシートベルトを使用していないこと、川や海辺が汚れていることなどです。英語教師としては、英語は中学校以前の段階で教えられ、学校教育の中で他の国々や文化についても重点が置かれるべきだと思います。

私は富山を「私の故郷」と思っていますし、将来もずっと富山に住みたいと思っていますが、これは私が日本人になってきているのではなく、外見は違っても同じ様に喜びや悲しを感じる皆さんと同じ人間だと言う事です。

富山市民国際交流協会の紹介

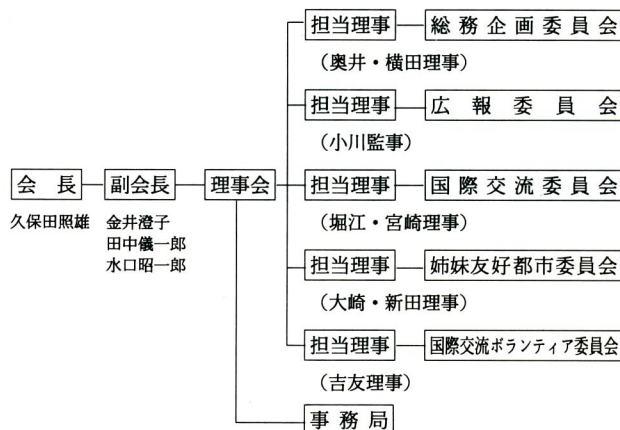
富山市民国際交流協会規約要約

この協会の目的（第3条）は、富山市民と諸外国の人々による友好親善を基調として、教育、文化、スポーツ、産業経済等の広範な国際交流を推進し、国際感覚豊かな人材の育成と国際化に対応したまちづくりを図り、もって富山市の発展に寄与することである。この目的のための事業（第4条）として(1)姉妹友好都市との市民交流事業(2)国際交流に関する事業の計画及び実施(3)国際交流に関する情報の収集・提供及び調査研究(4)国際交流団体との連携及び協力(5)国際交流ボランティアの育成(6)市民の国際交流活動への支援(7)その他協会の目的を達成するために必要な事業を行うこととしている。

これらの事業を推進するため、協会の役員（第6条）として、会長1人・副会長3人・理事25人以内・監事2人を置き、また、総会（第11条）、理事会（第12条）、専門委員会（第13条）を開催・設置している。

●規約正文は富山市国際交流センターにあります

組織図



●入会ご希望の方は下記事務局までお問い合わせ下さい

・事務局 富山市丸の内1丁目4番50号
〒930 ☎ (0764) 42-1109
富山市国際交流センター内

事務局長 松岡 一

富山市国際交流センターの紹介

国際交流は市民一人ひとりが担い手です。
富山市国際交流センターは、国際社会への市民の理解と市民による国際交流活動を推進する拠点です。とくに富山市民国際交流協会会員のご利用を期待しております。

* 施設

- (1)姉妹友好都市コーナー
姉妹友好都市への理解を図るため、姉妹友好都市の人々の生活文化、歴史などを写真、パネル、ビデオなどにより紹介しています。
- (2)企画展示コーナー
可動展示用パネルを備えたギャラリー機能を持っており、国際交流活動を行う市民や団体の皆さんが無料で利用できます。
- (3)交流コーナー
外国人と市民の語らいや交流の場としてお気軽にご利用ください。
- (4)会議室 (15人)
国際交流に関する活動のため、会議室を無料で利用できます。
- (5)情報・相談コーナー
外国人に、医療機関の紹介や各種公共サービスなど日常生活に関わる相談に応じるほか、富山の文化、歴史などの情報を提供しています。

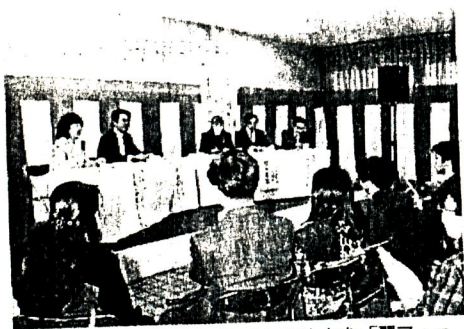


* 施設のご利用案内

開館日：月曜日を除く毎日
利用時間：火曜日～金曜日 午前9:30～午後9:00
土曜日、日曜日 午前9:30～午後5:00
休館日：祝日・年末年始 (12/28～1/4)

* 施設の利用について

企画展示コーナー、会議室の利用申し込みは、電話または直接センターへおいでください。



富山市翼の会十周年記念として行われた「翼フォーラム93イン富山」
＝富山市の国際交流センター

富山市の青年海外派遣事業への参加者で作る富山市翼の会十周年記念事業として、二十七日、「翼フォーラム93イン富山」がオープンした。富山市国際交流センターで開かれた。この「翼の根の国際交流をめぐって」と題されたフォーラムには、これまでの青年海外派遣事業の功績や、今後の国際交流のあり方などについて多面的な議論が交わられた。

草の根交流考える

富山新聞
H.5.1.18(日)

翼の会記念フォーラム

流センターがオープン ボランティアや在住外人応援



翼の会記念フォーラム

富山市国際交流センターは、市民や民間の力を結集し、国際交流の推進を図る。昨年度、市内で「翼の会」を開催し、市民や外国人の交流を促進した。今年度も、市内で「翼の会」を開催し、市民や外国人の交流を促進する。また、市内で「翼の会」を開催し、市民や外国人の交流を促進する。また、市内で「翼の会」を開催し、市民や外国人の交流を促進する。

「翼」が市民の国際基地



富山市民国際交流協会委員会報告

総務企画委員会（委員長 牧野新一）

5月6日 委員長の互選

「国際交流担い手シンポジウム」の計画について
新たな交流都市の調査開始について
会員の国内研修旅行について

6月3日 韓国との交流に関する調査について

広報委員会（委員長 岡田昌代）

5月7日 委員長の互選

「TCA-NEWS」の発行について
毎週火曜日、国際交流センターにて午後6時から7時まで委員会を開催

国際交流委員会（委員長 館盛貞信）

5月10日 委員長の互選

モジ市への衣類寄贈について
市民国際協力講座の開催について

26日 中国人留学生2名との懇談会

6月2日 市内在住外国人との交流バスハイクの計画について

23日 市内在住ロシア人1名との懇談会

姉妹都市委員会（委員長 森井一好）

5月26日 委員長の互選

モジ市への衣類寄贈について

（国際交流委員会と合同で）

ダーラム市高校生訪問団受入れ事業への協力について

富山市・ダーラム市高校生相互派遣事業実行委員会委員として稲垣由美子、岡山哲司を選出

6月16日 モジ市への衣類の収集方法について

30日 ダーラム市高校生訪問団について

国際交流ボランティア委員会（委員長 小池和子）

6月4日 委員長の互選

ダーラム市高校生訪問団引率教諭ホームステイ受入れについて
研修会の開催について

お知らせ

中国語講座の開催

定員 15名

期間 6月11日から平成6年2月25日まで毎週金曜日28回

会場 富山市国際交流センター会議室

受講料 会員2,000円、会員外5,000円

講師 中華人民共和国鄭州航空工業管理大学講師
現在富山大学人文学部研究生

市内在住外国人のための日本語講座

定員 15名

期間 平成5年6月8日から平成6年1月25日までの毎週火曜日24回

会場 富山市国際交流センター会議室

受講料 5,000円

講師 トヤマ・ヤポニカの人々

定員に達していませんので、ご希望の方はセンターまで

ロシア沿海地方民族アンサンブル

「オリジナル・ファンタジア」富山公演

日時 1993年8月30日 午後6時30分開演

場所 富山市公会堂

前売券 A 4,000円（当日売 4,500円）

B 3,000円（ " 3,500円）

連絡先 富山市丸の内1-3-15ロシア語研究所

担当 松井 TEL 0764-33-0057

市民国際協力講座の開催

テーマ 『市民にできる国際協力ー地域から世界に向けた国際協力』

会場 富山市国際交流センター

主催 富山市民国際交流協会

共催 国際協力事業団北陸支部

富山県青年海外協力隊を育てる会

定員 50人（定員になり次第締め切ります。）

受講料 無料（資料代 1,000円）

申込先 7月30日（金）～8月6日（金）までに電話かはがきで協会事務局へ

回数	月 日	時 間	テ マ	講師予定者
第1回	平成5年8月7日（出）	PM1:30～PM3:00	富山から世界に向けた国際協力	富山国際大学学長 佐々 学氏
第2回	平成5年8月10日（火）	PM6:00～PM8:00	市民ができる国際協力①ー世界寺小屋運動ー	（財）名古屋国際センター
第3回	平成5年8月24日（火）	PM6:00～PM8:00	地域からの国際協力ー小さなハート運動ー	富山県青年海外協力隊を育てる会
第4回	平成5年8月31日（火）	PM6:00～PM8:00	市民ができる国際協力②ー英語報告とパネルディスカッションー	富山YMCA、ユネスコ 金沢を世界に開く市民の金外予定
第5回	平成5年9月7日（火）	PM6:00～PM8:00	開発教育について	水野 富士男（教育評論家）
第6回	平成5年9月14日（火）	PM6:00～PM8:00	NGO国際協力の現状	シニアボランティア市民による海外協力の金 事務局 川口 健行
第7回	平成5年9月18日（出）	PM1:30～PM3:00	政府開発援助の現状 地方自治体の国際協力	国際協力事業団

「国際交流担い手シンポジウムin富山」の開催

テーマ 『個人発、ボーダレス・ネットワークをめざして』

開催日時 平成5年7月31日（土）、8月1日（日）

会場 7月31日（土） 富山市民プラザ
富山市大手町6-14

8月1日（日） 高志会館

富山市千歳町1-3-1

主催 国際交流担い手シンポジウムin富山実行委員会

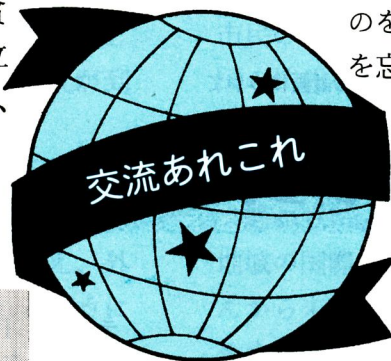
連絡先 富山市国際交流センター

会員の方は7月25日（日）まで受付けます

—世界から貧困をなくそう—

我々は、今世紀になって様々な事を体験いたしました。多くの戦争が起き、第一次世界大戦、第二次世界大戦の二つの大戦をあわせただけでも、4,800万人の人々が死んでいきました。人類の苦悩や苦しみが、さらに拡大したこともありました。人類の歴史を振り返りましても、これほどまで人間が苦しんだ時代というのは、なかったはずです。我々は、これから先も様々な難しい問題に直面していくでしょう。

ご存知かと思いますが、現時点で世界中の102の地域で対立が起きております。もちろんそれぞれ固有の原因がありましよう。その一つは、民族的、宗教的陰悪感、あるいは貧困というものです。当然いろいろな対立があるわけですが、忘れてならないのは、



星日文化協会との 交流交歓会



↑
星日文化協会第7回日本親善使節団47名は、5月19日～22日富山を訪れ、立山、八尾、五百羅漢などを見学し、親善を深めた。

金絲猴

中国からやって来ました。→
ファンファンとヴェンヴェンです。
交流交歓会は富山市ファミリーパークで…

（平成5年10月17日まで）

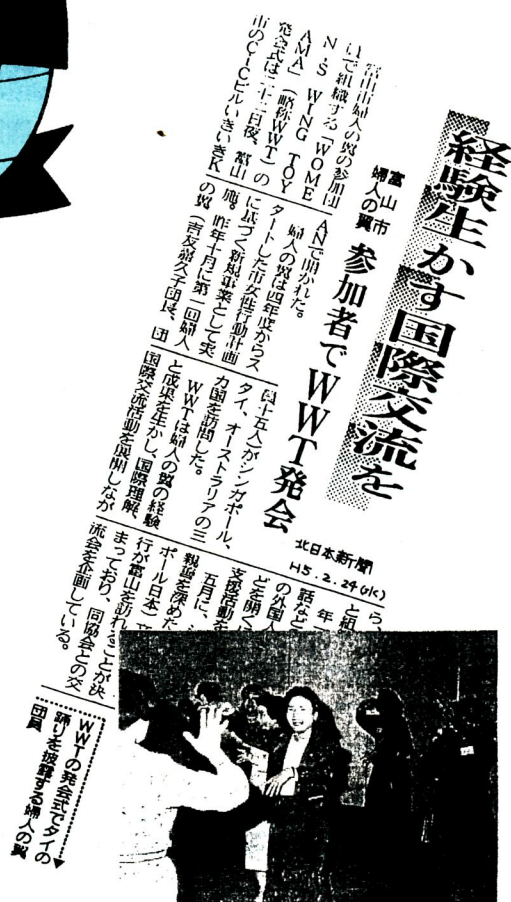


ues-New Democratic Administration Japan-America Society of Toyama



黙っていて解決されるものではないということです。民主主義の国だからといって、黙っていては解決しない問題がたくさんあるということであります。我々のような豊かな国の人間は、幸いにも貧困や病気という苦しみから解放されていますし、字も読めます。しかし、それが原因で、自己中心的な考え方しかしていないという側面もあるでしょう。我々が与えられている恵まれたものを世界の人々と分かち合うべきことを忘れてはならないと思います。

（1993.4.13 於・富山市）



編集後記

当協会は国際協力活動を、自らが計画、実行する市民ボランティアが会員であります。会員相互および外部とのコミュニケーションを図り、また協会の活動に対する理解を深めてもらうことを願って『TCA-NEWS-』の創刊号が出来上がりました。

初心者ばかりが、手探りでいろいろ勉強しながら発刊に漕ぎ着けました。出来栄の程は分かりませんが今後はご指導をいただきながら、「ああしたら」「こうすれば」と、工夫を重ねてもっと魅力のあるものと思っております。

読み終わっても捨て難く、次回が待ち遠しい『TCA-NEWS-』を届けたいと、広報委員会一同意欲いっぱいガンバッております。紀行文や、感激感動した交流交歓の紹介、海外レポート、お知らせ、ご意見、ご感想などを富山市国際交流センター内、広報委員会までお寄せ下さい。お待ちしております。 広報委員長 岡田昌代